

技術・家庭科を学ぼう

1. 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【技術分野の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、作製図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 指導計画

月	1年(70時間)		2年(70時間)		3年(35時間)	
10	ガイダンス ・生活で利用されている技術 ・技術の進展と環境	ガイダンス 家庭科の学習について	4 目的に応じた生物育成の技術をもとに、環境保全について考えよう	10 スッキリ、安心わたしの住まい ・住まいのはたらき ・安全な住まい ・快適な住まい	4 修学旅行の思い出を綴ろう	中学生になるまで
11	材料の特徴を調べよう ・材料の特徴と性質 ・加工の技術の工夫の読み取り	5 健康的に食べる ・栄養素と健康 ・食品の栄養素 ・1日分の献立を考えよう	5 ・栽培とは ・育成環境の調整、管理 ・生物育成の技術の工夫を読み取ろう ・問題発見し課題設定 ・評価、改善、修正 ・生物育成の最適化 ・これからの技術	11 TPOに合った清潔な着方 ・衣服のはたらき ・TPOを考えたコーディネート ・衣服の表示 ・衣生活課題まとめ	5 ・スライドソフトを活用 情報モラル、情報セキュリティ	・家族や周囲の人々 ・家庭の働き 子どもの成長
12	問題を発見し課題を設定しよう ・機能と構造 ・構想図と設計のまとめ	6 ・鮮食品と加工食品 ・食品の表示	6 電気の安全な使い方を知ろう ・電気の安全な使い方 ・電気エネルギーと生活 ・電気の安全な使い方 ・電気回路のしくみ	12 責任ある消費行動 ・消費生活と環境	6 ・情報の技術の工夫を読み取る 計測・制御システムを利用して問題解決しよう	・幼児の心身の発達 ・幼児の発達と生活の特徴 ・幼児の生活習慣
1	整理するものを作り身近な生活の問題を解決しよう ・材料取り・けがき ・のこぎりびき・部品加工 ・直角度検査・接合部のけがき ・組み立て ・きりの使い方・げんのうの使い方 ・仕上げ ・問題解決の評価、改善・修正 ・技術の最適化過去・現在・未来	7 食事作りに挑戦しよう ・実習の計画 ・肉の料理 ・魚の料理 ・野菜の料理	7 簡単な電気機器を製作し問題を解決しよう ・制作の準備と安全作業 ・問題を発見し、課題を設定しよう ・照明機器の製作 ・部品の名称と働き ・問題解決の評価、改善・修正 ・回路計の使い方 ・エネルギー変換の技術の最適化 ・これからのエネルギー変換の技術 ・過去・現在・未来	1 ハンドメイドでエコバッグづくり ・バッグの構成を知ろう ・簡単なバッグをつくろう	7 ・問題を発見し、課題を設定しよう ・計測・制御システム構想しよう	・幼児の発達と生活の特徴 ・幼児の生活習慣
2	メディアを効果的に利用したコンテンツ制作から情報の技術を考えよう ・情報の技術とは ・デジタル化、ネットワークの仕組み ・情報モラル、情報セキュリティ ・情報の技術の工夫を読み取ろう ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか ・問題を発見し、課題を設定しよう ・コンテンツを構想しコンテンツの製作しよう ・問題解決の評価、改善・修正	9 ・食生活の課題	9 ・エネルギー変換の技術の最適化 ・これからのエネルギー変換の技術 ・過去・現在・未来	2 地域の食材を使った調理 ・食生活の課題 ・地域の食材を調べよう ・郷土料理、行事食を調べよう ・調理実習	9 ・計測・制御システムのプログラムを制作しよう 11 ・問題解決の評価、改善・修正 12 ・情報の技術の最適化	幼児とふれあい ・保育所訪問 ・訪問計画 ・まとめと発表
3		10 わたしたちの消費生活と ・商品の選択と購入	10	3	1 学んだことを社会に生かす ・3学年間の技術の学習内容を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいかを考えてまとめる。 ・地球環境や将来の世代のための技術について考え、10年後、50年後の未来を予測する。	私と家族・家庭と地域 ・私と家庭生活 ・家庭生活と地域 3年間のまとめ

3. 技術・家庭科の学習のしかた

① 授業では

技術分野	<ul style="list-style-type: none"> 技術分野の学習「A. 材料と加工の技術」「B. 生物育成の技術」「C. エネルギー変換の技術」「D. 情報の技術」の4つの内容を学習します。 具体的には、技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを理解した上で、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策が最適なものとなるよう設計・計画し、製作・制作・育成を行い、その解決結果や解決過程を評価・改善し、さらにこれらの経験を基に、今後の社会に
家庭分野	<ul style="list-style-type: none"> 家庭分野は、日常生活を豊かにするための学習です。ただ単に知識を暗記するのではなく、自分で問題をみつけ、身体を使って実践してみたりしながら、日常生活に生かせるようにしていくことが大切です。 作品づくりや実習では、安全を心がけながら、真剣に取り組む。

② 家庭学習では

技術・家庭科	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習したことを、家庭の中で実際にやってみたりつくってみることが大切です。その時、家族の人たちから感想を聞いておくと、次の取り組みに生かすことができます。 授業で学んだことを生かし、生活の中の問題点を解決できるか、考えることが大切です。日頃から身近な問題点を探しておく、授業に生かすことができます。
--------	--

4. 技術・家庭科の授業で必要なもの

技術分野	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 ワークシート ファイル 技術・家庭科の資料集 筆記用具 タブレット (全て学校に置いていってよい) 「A. 材料と加工の技術」「B. 生物育成の技術」「C. エネルギー変換の技術」の学習で作業がともなう内容の場合には、ジャージを着用してください。「D. 情報の技術」の学習でコンピュータールームを使用する場合には、制服着用がのぞましいです。その他、適宜連絡します。
家庭分野	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 ワークシート ファイル 技術・家庭科の資料集 筆記用具 (全て学校に置いていってよい) その他特に必要なものは、事前に指示します。(例えば、裁縫道具や調理実習をする時のエプロン、バンダナ、必要な材料等)

5. 技術・家庭科の評価の観点及び評価・評定の方法

観点項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決す力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価方法	授業のみとり 作業計画表の内容 ワークシート 定期テスト パフォーマンステスト	授業のみとり ワークシート 作品・レポートの工夫 作業計画表の工夫 振り返りカード 作業計画表の内容 定期テスト パフォーマンステスト	授業のみとり 作品のみとり レポートのみとり 作業計画表の内容 振り返りカード ワークシート
評価	<ul style="list-style-type: none"> 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C 	<ul style="list-style-type: none"> 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C 	<ul style="list-style-type: none"> 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C
評定	3つの観点別評価を総括して、5段階評定となります。		
	十分満足できるもののうち特に程度が高い	5	十分満足できる
	おおむね満足できる	3	一層努力を要する
		2	1